

2022年度の1学期も締めくくりの時期になりました。みなさんは、新しい学年、新しいクラスで自分らしく過ごせたでしょうか。今年度の人権だよりは、人権委員を中心に作成しました。人権委員の視点から、1学期に行われた活動の報告や、人権に関する情報提供をするので、ぜひ最後まで読んでくださいね。一人一人の、そして土居高校全体の人権感覚を高めていきましょう。



① 第1回 人権・同和教育ホームルーム活動報告

5月26日(木)に第1回の人権・同和教育ホームルーム活動が行われました。各クラスの活動の様子や人権委員からのメッセージをまとめました。自分の学びを振り返りながら、他のクラスの学びを共有しましょう。

【1年生】高校生になって初めての人権・同和教育のホームルーム活動でした。小・中学校での学びを振り返りながら、「よりよい人間関係をつくろう」という主題のもと、自分や周囲の友人の良さに気づき、豊かな生き方をするには何が大切かということを考えました。



1Aでは、「人権」を学ぶ目的を考えました。生活の中から、「同じもの」や「違うもの」は何かを考えたり、言葉の使い方を考えたりしました。

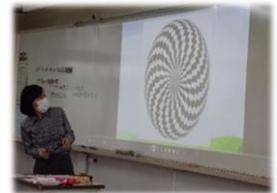
【人権委員からのメッセージ】

自分が放った言葉や態度はいつか自分に返ってくるので、普段から『ありがとう』や『ごめんなさい』の言葉を大切にしていこう!

1Bでは、坂村真民さんの「二度とない人生だから」の詩を読んだり、錯視の画像を見たりして、一つの見方だけでなくいろいろな見方で考えることの大切さを学びました。

【人権委員からのメッセージ】

考えや意見が違うのは当たり前。いろいろな視点でものごとを考えるようにして、友達と良い人間関係を築いていこう!



【2年生】昨年度までの学びをもとに、「人権を獲得してきたあゆみに学ぼう」という主題のもと、部落差別の起こりを学び、偏見や差別が不合理なものであることを理解しました。



2Aでは、銀閣寺の庭園や又四郎言葉、そして江戸時代の身分制度について学ぶ中で、「なぜ人権獲得の歴史を学ぶのか」ということをクラスみんなで考えました。

【人権委員からのメッセージ】

過去にあった差別を二度と繰り返さないように、正しい知識を身に付けて差別を許さないという気持ちを持って生きていこう!

2Bでは、「職業」に注目して、班で意見交換をしました。過去には、職業による偏見から、差別が起こったことを学び、偏見や差別の不合理さについて理解しました。

【人権委員からのメッセージ】

クラス全体で差別がどれだけ恐ろしいものかということを実際に考えることができました。みなさんも、差別の恐ろしさについて、友達や家族と話し合ってみよう!

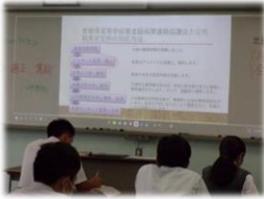


2Cでは、室町時代の歴史的背景と文化を学び、差別を受けた人たちが、社会の中で重要な役割を担っていたことを確認しました。

【人権委員からのメッセージ】

差別の歴史を学ぶのは、二度と同じ過ちを繰り返さないようにするため!一人一人が自分のこととして考え、学び、行動していこう!

【3年生】「進路保障の取組と私たちの人権」という主題のもと、「全国高等学校統一用紙」の制定の趣旨を学び、就職面接の場で不適切な質問に答えられないことが自分の人権だけでなくすべての人の人権を守ることに繋がることを理解しました。



3Aでは、「差別につながる14項目」について詳しく学びました。就職差別につながる恐れのある質問を見極めるためには正しい知識が必要であること理解しました。

【人権委員からのメッセージ】

「差別につながる14項目」を知っていますか？知らない人もいると思うので、今日学んだことを、まだ知らない人に伝えていきます！

3Bでは、実際に模擬面接を行いました。本人の適性や能力以外で判断されるのはおかしいということに気付くことができました。

【人権委員からのメッセージ】

3年生は就職、進学が迫ってきました。面接のときに「差別かも？」と感じたら、はっきり言うことができるように、面接の練習を重ねていきましょう！



3Cでは、「社用紙」と「全国高等学校統一用紙」の違いについて考えました。改善されてきているけれども、まだ、就職差別につながるおそれのある質問を受けることがあるということを確認しました。

【人権委員からのメッセージ】

不適切な質問を受けたときは、「その質問は差別につながるおそれがあるためお答えしなくてもよい」という学校の指導を受けているのですが、お答えしなければならぬでしょうか。」とはっきり答えるようにしましょう！



② 人権委員コーナー

(1) 人権に関する本を読んでみよう！



『灰色の地平線のかたに』 ルータ・セペティス 著 / 野沢佳織 翻訳

みなさんは「シベリアの強制労働収容所」について聞いたことがありますか？この本は、「強制労働収容所」をテーマにしています。

画家を目指す15歳の少女リナの家で、突然、ソ連の秘密警察が押しかけてきて、母親と弟と共に極寒の地に連れてこられます。過酷な労働や飢え、家族や仲間の死を必死に耐え、懸命に生き抜く姿が描かれています。世界数十か国で読まれており、「人権、人間の尊厳とは何か」ということを考えさせられる作品です。土居高校の図書室にもあるので、ぜひ読んでみてください。

～ 人権委員会 2A 高橋愛理さん推薦 ～

(2) 人権クイズに挑戦!!

次の4つのマークは、どれも車に表示するマークです。何のマークでしょう？

1



2



3



4



★答えは「人権だより2022 第2学期号」に掲載しますが、気になった人はぜひ調べてみてください。★

～ 人権委員会 2B 佐々木唯穂さん出題 ～